

19-1

来週の木曜日の試験



活動

ほかの人から聞いたことを別の人に伝える。

かたち



時間

せつめい編

文-78 そうです(伝聞)

談話の技術

準備する物

使うことば

試験、科目*、数学、日本語*、いつ、どこ、だれ、どんな、持って来る、物、来週、
~時間目*、場所、勉強[する]、教室、図書館、クラス、全員*、~番、生徒、だけ、
受ける、計算機*、辞書

手 順

1. 教師は下のような表を黒板に書く。学習者はノートに写す。
2. 学習者は5人ずつのグループに分かれる。
3. グループの中で、表の(1)~(5)の情報の係を決める。
4. 教師は、教室の外に(1)~(5)の<じょうほうカード>をはっておく。
5. 教師が合図をして、まず各グループの(1)

- の係の人が情報カードを見に行く。カードに書かれた情報を覚えて、<モデルテキスト>のように各グループに報告する。ほかの学習者は、聞いた情報を表にメモする。(2)~(5)の係も同じように繰り返す。
6. 全てのグループが情報を書き終わったら、グループごとに答えを発表して、クラスで確認する。

(れい) 科目	すう学	にほんご 日本語
(1) いつ	じかんめ 2時間目	
(2) どこ	いづも 勉強している教室	
(3) だれ	クラスぜんいん	
(4) どんな試験	よんだり書いたりする試験	
(5) 持って来る物	けいさんき	

モデルテキスト

- (れい) 来週の木曜日の試験は、らいしゅう もくようび しけん すう学ではなくて、がく 日本語になるそうです。
 (1) 試験は、しけん 2時間目ではなくて、じかんめ 3時間目になるそうです。
 (2) 試験の場所は、しけん ばしょ いつも勉強している教室ではなくて、べんきょう きょうしつ 図書館だそうです。
 (3) クラスのぜん員ではなくて、いん (1ばんから15ばんまでの生と)
せいと
 だけが試験をうけるそうです。
 (4) 試験は、しけん 読んだり書いたりする試験ではなくて、はな しけん 話す試験だそうです。
 (5) 試験では、しけん 計さんきではなくて、けい 日本語のじ書を使うそうです。
にほんご しょ つか

じょうほうカード

(れい) 来週の木曜日の試験は、 すう学ではなくて、 日本語になります	(1) 来週の木曜日の試験は、 2時間目ではなくて、 3時間目になります。
(2) 試験の場所は、いつも勉強している教室ではなくて、 図書館です。	(3) クラスぜん員ではなくて、 (1ばんから15ばんまでの せいと) だけが試験をうけます。
(4) 試験は、読んだり書いたりする 試験ではなくて、話す試験です。	(5) 試験では、計さんきではなくて、 日本語のじ書を使います。

バリエーション

- (1) クラスから学習者が5人出て情報係になり、それぞれ自分の担当の情報を各グループに伝える。

先生へ

- 最初に(例)を使って、活動の方法を学習者に示すとよい。
 - 情報カードの(3)は、クラスの状況によって、内容を変える。
- (例) 名前なまえのイニシャルがA～Mの生徒せいと
- 「試験」以外の話題にする場合、学校内のできごとなど、学習者に身近な話題にする。